INTEC
COMPONENT WORLD

コンパクトディスクレコーダー

CDR-205X

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

ONKYO®

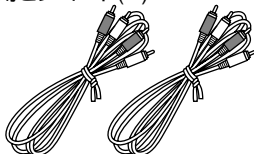
目　次

特長

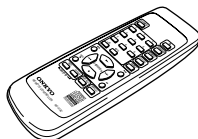
■ 光デジタル入力端子2系統装備
■ デジタル/アナログ録音ボリューム搭載
■ オートファイナライズ機能
■ デジタルシグナルシンクロ録音
■ CDダビング機能
■ DLA Link機能
■ 30曲プログラムメモリー
■ サンプリングレートコンバーター搭載
■ システムコントロールリモコン連動機能（A-909XおよびR-805Xのリモコンでコントロール可能）

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。(　)内の数字は数量を表しています。

- オーディオ用ピンコード(2)

- オーディオ用光デジタルケーブル(1)

- RIケーブル(1)

- リモコン(1)

- 乾電池（単3形）(2)

- 取扱説明書(本書1)
- 保証書(1)

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒後に改めて電源プラグを入れてください。

オーディオ機器の正しい使い方

オーディオ機器を安全にお使いいただくために必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。

■ １００V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流１００ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（ＤＣ）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

● 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。

● 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないください。

● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないください。

● 本機を設置する場合は、壁から１０cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から２cm以上、背面から５cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

⚠警告

■ 水のかかるところに置かない

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから
抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

指をはさまれないように注意

●お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ 電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用などについても販売店にご相談ください。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期の前が効果的です。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

♪ 音のエチケット

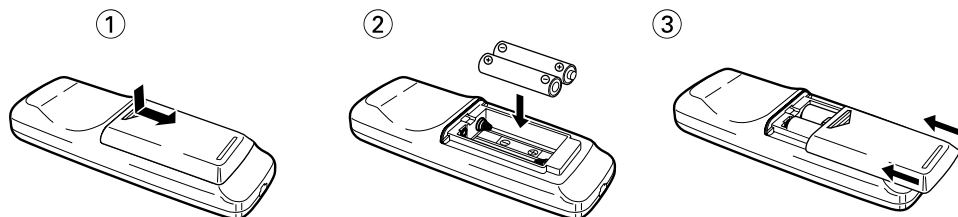
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。

隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

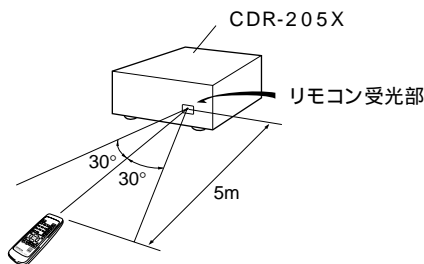
リモコンの使い方

■ 本機付属のリモコン（RC-413C）

乾電池の入れ方と交換の仕方

ご注意

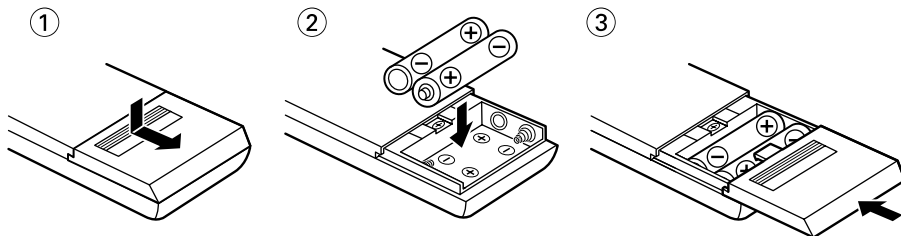
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3型をご使用ください。

リモコンの使い方

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

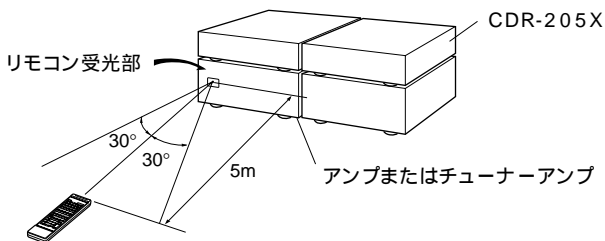
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

■ INTEC205シリーズA-909Xに付属のリモコン（RC-415S）または、R-805Xに付属のリモコン(RC-414S)で本機を操作することができます。

乾電池の入れ方と交換の仕方

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3型をご使用ください。

リモコンの使い方

アンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

システム接続の流れ

■INTEC205シリーズ A-909X（アンプ）、R-805X（チューナーアンプ）、T-405X（チューナー）、C-709X/707CHX（CDプレーヤー）、K-505X（テープデッキ）、MD-105X（MDデッキ）と接続する場合

システム接続のしかた
（INTEC205シリーズの接続）

A-909X/R-805Xの取扱説明書をごらんください。

INTEC205シリーズの組み合わせでご使用になると、次のシステム機能を使うことができます。

オートパワーオン
本機の電源をオンにしたり再生を始めるとアンプの電源が自動的にオンになります。また本機を使用しないときは本機のみの電源をオフにすることができます。

ご注意
A-909X（アンプ）の主電源スイッチ（Power）が切（OFF）になっていたり各機器の接続が正しくないとオートパワー機能は動作しません。オートパワーオン機能を働かせる場合は、A-909Xの主電源が入（ON）になっていることおよび各機器が正しく接続されていることを確認してください。また、R-805Xのエナジーセーブ中は、オートパワー機能は動作しません。

ダイレクトチェンジ
本機のプレイ/ポーズボタン（▶/❚❚）を押すとアンプの入力がCDRに切り換わります。

リモコン操作
A-909X/R-805Xに付属のリモコンで本機を操作することができます。

詳しくはA-909X/R-805Xの取扱説明書をごらんください。

タイマー操作
タイマー演奏ができます。

詳しくは本取扱説明書の41ページおよびT-405X/R-805Xの取扱説明書をごらんください。

CDダビング
CDプレーヤーから本機への録音をワンタッチで行える機能です。

詳しくは本取扱説明書21～22ページをごらんください。

CDシンクロ録音
本機を録音待機状態にしておけばCDプレーヤーのプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくは本取扱説明書23ページをごらんください。

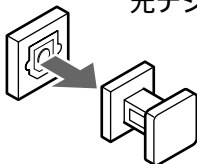
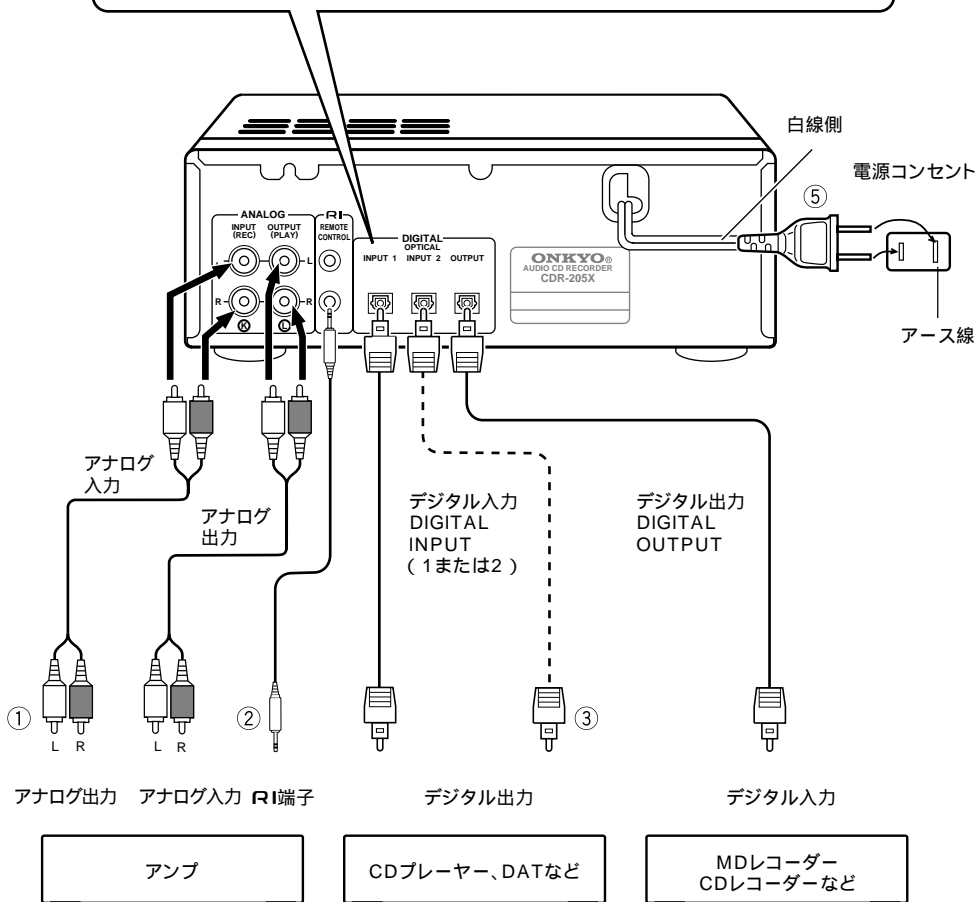
MDとテープデッキからのシンクロ録音
本機を録音待機状態にしておけばテープデッキのプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくは本取扱説明書24ページをごらんください。

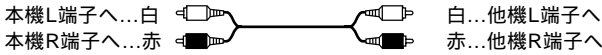
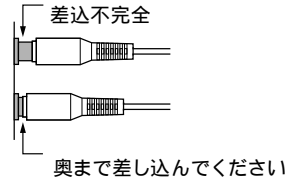
他の機器との接続

■ 他の機器と接続する場合

本機は熱に弱い部品を使用していますので、アンプなどの上には置かないでください。

すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。

① アンプとの接続

アンプのCDR,TAPEまたはMD端子に本機を接続してください。

- 付属のオーディオ用ピンコード（赤、白プラグ付きピンコード）を使用し、赤いプラグは（R）側に、白いプラグは（L）側に接続します。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。

② RIケーブルの接続

- RI端子付きオンキョー製品と、本機に付属のRIケーブルを使って、RI端子どうしを接続してください。
- RI端子は、RI端子付きオンキョー製アンプと組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキョー製品以外とは接続しないでください。故障の原因となります。
- RI端子の上下2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

③ デジタル入力端子(DIGITAL INPUT)の接続

デジタル出力端子(OPTICAL)付きのCD(コンパクトディスクプレーヤー)やDAT(デジタルオーディオレコーダー)などと接続してデジタル録音ができます。
オーディオ用光デジタルケーブルでDIGITAL INPUT1または2端子に接続してください。
また、この端子は、デジタル出力端子付きアンプとも接続できます。

- 光デジタル入出力端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取り付けておいてください。
- 光デジタル入力端子を接続せずにデジタル録音はできません。（「D.In Unlock」が表示されます。）

④ デジタル出力端子（DIGITAL OUTPUT）の接続

デジタル入力端子（OPTICAL）付きのMD（ミニディスク）レコーダー、CDレコーダー、DAT（デジタルオーディオレコーダー）などと接続してデジタル録音ができます。また、デジタル入力端子（OPTICAL）付きアンプとも接続できます。

⑤ 電源コードをつなぐ

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。
電源コードの片側に白線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

電源の入れかた

本機をシステム接続した場合、3通りの電源状態があります。

電源オン:本機のON/OFFスイッチを押し込んだ状態（ON）で、リモコンまたは他のシステム機器でも電源を切っていない状態です。STANDBYインジケーターが消えています。この状態で通常の操作を行います。

スタンバイ:本機のON/OFFスイッチを押し込んだ状態（ON）で、リモコンまたは他のシステムで電源を切った状態です。STANDBYインジケーターが点灯します。スタンバイ状態では、リモコンまたは他のシステム機器の電源が入ったとき電源オンに復帰し、システム動作を開始します。

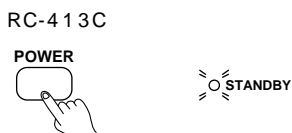
電源オフ:本機のON/OFFスイッチを押してスイッチを解除した状態（OFF）です。この状態では、リモコンまたは他のシステム機器の電源を入れても、本機は連動しません。

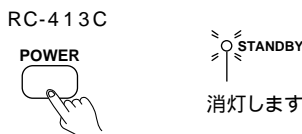
電源の操作

1 本機のON/OFFスイッチを押し込む

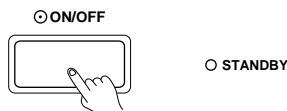
表示部が点灯し、電源オンの状態になります。

2 リモコンのPOWERボタンを押す（またはA-909X/R-805Xの本体STANDBY/ONボタンを押してスタンバイ状態にする）

STANDBYインジケーターが点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

3 リモコンのPOWERボタンを押す（またはA-909X/R-805Xの本体STANDBY/ONボタンを押して電源を入れる）

STANDBYインジケーターが消え、本機は再び電源オンの状態になります。

4 本機のON/OFFスイッチを押して、スイッチを解除する

本機は電源オフの状態になります。

ご注意

ON/OFFスイッチがOFFの位置になっていても本機はわずかに電力を消費しています。本機の電源を完全に切るときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用できるディスクについて

CD-RとCD-RW

本機で録音する場合、下記マークのついたディスクを必ずお使いください。

*1

*2

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

（上記いずれかの表示のあるディスク）
録音は上記マークのないディスクでは行なえません。

著作権使用料は、著作権法で制定されています。上記マークの付いたCD-R[*1]やCD-RW[*2]、また「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」「FOR MUSIC USE ONLY」とあるディスクはすでに使用料が支払われているため、個人で楽しむ範囲内での音楽録音が許可されています。ただし、個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合には、権利者から許可を得る必要があります。

本機では、以下のメーカーのCD-Rについて動作を確認済みです。（2000年4月現在）

- オンキョー株式会社
- パイオニア株式会社/パイオニアビデオ株式会社
- TDK株式会社
- 日立マクセル株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社

下記のメーカーについてはメーカーサンプルにて動作を確認済みですが、自社ブランド名でのオーディオ用ディスクは未確認です。

- 株式会社リコー
- 太陽誘電株式会社
- 日本コダック株式会社

上記のメーカーのディスクが、別のブランド名で発売されている場合もあります。

CD

本機には下記マークの付いたCD（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。

著作権についてのご注意

ラジオ放送番組、CD、レコード、音楽テープ、オリジナルカセットなどのメディアと音楽演奏は、音楽要素である歌詞とメロディが等しく著作権法によって保護されています。したがって、権利者の許諾なく上記の媒体を販売・譲渡・配付・リリース、また店舗などでBGMとして流すことも禁止されています。

CD-Rのファイナライズ処理

CD-Rは録音終了後、一般にCDプレーヤーで演奏できるようにするためにファイナライズ処理が必要です。
ファイナライズすると、追加録音およびSKIP指定と解除ができなくなります。

未録音ディスク（録音可能）

表示部に「Blank Disc」が点滅します。

Blank Disc

途中まで録音したディスク（録音可能）

- **ファイナライズ前（録音可能）**
  一般のCDプレーヤーでは演奏できません。CDレコーダーでのみ演奏ができます。

  CD-R

- **ファイナライズ後（録音できません）**
  一般のCDプレーヤーで演奏ができます。

  CD

CD-RWについて

CD-RWは、ファイナライズ処理をしても一般のCDプレーヤーでは演奏ができません。CD-RW対応プレーヤーでのみ演奏が可能です。また、CD-RWはファイナライズ済みでも消去可能です。
ファイナライズ済みのCD-RWを挿入すると、CD-RWとFINALIZEインジケーターが点灯します。

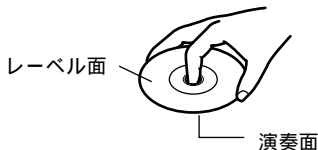
使用できるディスクについて

ディスクについてのご注意

ハート形や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因になることがあります。

パソコン用のCD-ROMなど音楽用ではないディスクは使用しないでください。異音の発生などで、スピーカーやアンプの故障の原因となります。

■ 取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また、きずなどをつけないようにしてください。

■ レンタルCDの注意について

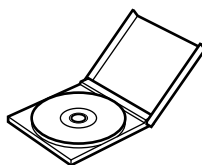
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

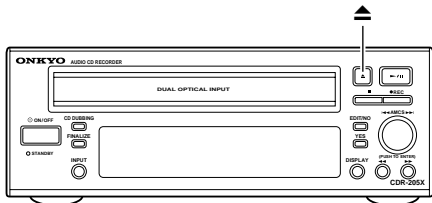
■ お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

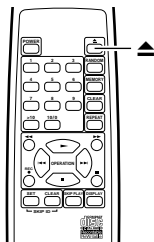
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が傷されていることがありますので絶対に使用しないでください。

■ 保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に動かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。
結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

ディスクを入れる

RC-413C

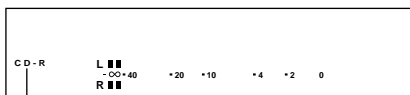
1 電源を入れる（☞14ページ）

ディスクを挿入すると、ディスクの種類を自動的に判別し、ディスプレイに表示します。

ディスクインジケーター

2 ⏏ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。
ディスクはレーベル面（印刷面）を上にして、ディスクトレイの中央に置いてください。

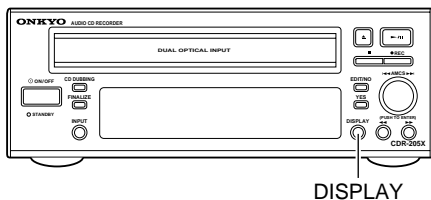
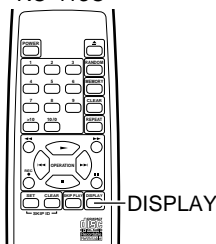
CDR-205X

RC-413C

3 ⏏ボタンを押す

ディスクトレイが閉じます。

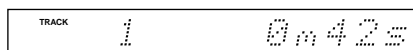
- ►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押しても、トレイが閉じます。
- スタンバイ状態から►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押すと、電源が入ります。A-909X/R-805Xとシステム接続している場合、A-909X/R-805Xの電源も入ります。

CD	市販の音楽CD ファイナライズ済みのCD-R
CD-R	未録音のCD-R 録音途中の（ファイナライズしていない）CD-R
CD-RW	未録音のCD-RW 録音途中の（ファイナライズしていない）CD-RW
CD-RW **FINALIZE**	ファイナライズ済みのCD-RW

表示を切り換える

録音中の表示

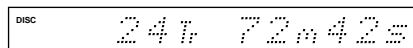
録音中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

録音中の曲番と経過時間

↓

録音可能な残り時間

↓

総曲数と総録音時間

↓

(はじめに戻る)

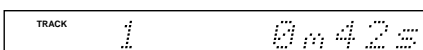
CDダビング時の表示について

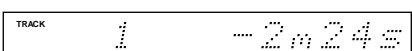
- **CD-Rのとき**
  Fadeモード時は、録音可能な残り時間のみ表示されます。
- **CD-RWのとき**
  Albumモード時は、経過時間のみ表示されます。

再生中と停止中の表示

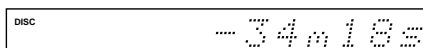
再生中と停止中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンをくり返し押すと、次のように表示が切り換わります。

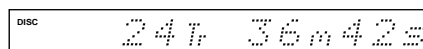
再生中の曲番と経過時間(停止中は0m00s)

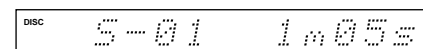
↓

再生中の曲番と曲の残り時間(停止中は0m00s)

↓

ディスクの総演奏時間の残り時間
(停止中は、録音可能時間)

DISC -34m18s

↓

ディスクの総曲数と総演奏時間

↓

ディスクにメモリーされている曲数と
総メモリー演奏時間
(メモリーされている場合のみ)

↓

(はじめに戻る)

録音モードについて

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
Tel:　03-5353-0336
Fax:　03-5353-0337

録音時のご注意

以下の場合は、●RECボタンやCD DUBBINGボタンを押しても録音できません。

- CDインジケーターが点灯したとき（CDまたはファイナライズ済みCD-R挿入時）
- CD-RWインジケーターとFINALIZEインジケーターが点灯したとき（ファイナライズ済みCD-RW挿入時）
- ディスクの残り時間がなく、「Disc Full」と表示されたとき
- 99曲をすでに録音済みで、「Disc Full」と表示されたとき

オーディオ信号のみ録音できます。

本機はオーディオ信号の記録用（録音用）に設計されていますので、デジタル信号はオーディオ信号に限って録音が可能です。オーディオ信号以外のCD-ROMやドルビーデジタルなどのデータは記録できません。また、CDグラフィックやTEXT入りCDのようにその他の情報が含まれたディスクの場合も、オーディオ信号以外のデータは記録されません。

1曲の最小録音時間は4秒です。

CDは1曲が4秒以上でなけらばならないという決まりがあるため、録音開始後すぐに■ボタンや⏸ボタンを押しても、無音状態の4秒間のトラックが記録されてからでないと、再び録音を始めることができません。その間、その他の操作もできません。

録音中、ファイナライズ、消去中および「PMA Writing」表示中は、電源を切らないでください。

誤って電源を切ってしまったり、停電になった場合は、次に電源を入れたとき残りの処理を続けますが、ディスクは正しく修復されない場合があります。

システム接続時の録音モード

本機をA-909X/R-805X、C-709X/C-707CHX、K-505X、MD-105Xとシステム接続した場合、次のような録音が可能です。

■ CDダビング（デジタル、☞21ページ）

音楽CDの全曲を、CD-RまたはCD-RWにデジタル録音します。
ダビング後に自動的にファイナライズするモードを選ぶこともできます。
ダビングモードは、EDITメニューで選びます。
アルバムモード：最後まで録音できる曲だけを録音します。
フェードアウトモード：最後まで録音できなかった曲をフェードアウトします。

■ 1曲CDダビング（デジタル、☞22ページ）

CDプレーヤーで演奏中（または一時停止中）の曲だけをワンタッチで録音できます。
ダビングモードは、現在設定されているモードになります。ただし、1曲CDダビング時は、アルバムモードを選んでいても、最後まで録音できなかった曲を消去せず、途中まで録音します。

■ シンクロ録音（☞23ページ）

本機をシステム接続した場合、次のような操作ができます。

- CDプレーヤーから本機へシンクロ録音する
- MDレコーダー/テープデッキから本機へシンクロ録音する
- 本機からMDレコーダー/テープデッキへシンクロ録音する

ご注意

CDダビング、1曲CDダビング、シンクロ録音には、本機のデジタル入力端子1にC-709X/C-707CHXからの光デジタルケーブルが接続されていることが必要です。システム接続については、A-909X/R-805Xの取扱説明書をご覧ください。

録音モードについて

一般的な録音モード

システム接続をせず、本機のアナログ入力端子または光デジタル入力端子に入力した信号を録音するには、次の方法があります。

■ アナログ録音（☞25ページ）

アナログ入力端子からの入力信号を録音します。
録音レベルは、手動で調整することができます。

■ デジタル録音（☞27ページ）

光デジタルからの入力信号を録音します。
録音レベルは、手動で調整することができます。

■ デジタルシグナルシンクロ録音（☞29ページ）

ポータブルMDプレーヤーやRI端子のない製品と組み合わせて録音するときは、デジタル信号入力に同期して録音を始めることができます。

レベルシンク機能について

レベルシンク機能は、録音ソースの曲間を検出し、曲番を自動的につける機能です。

■ アナログ録音の場合

レベルシンク機能は自動的にOFFになります。
曲番をつけるには、録音中に曲番をつけたい位置で●RECボタンを押します。
曲間に2秒以上の無音部分のある録音ソースでは、レベルシンク機能をONにして、自動的に曲番をつけることができます。（☞26ページ）

■ デジタル録音の場合

レベルシンク機能は自動的にONになります。
曲番情報を含むデジタル信号では、自動的に曲番がつきます。衛星放送など曲間情報を含まないソースでは、レベルシンクをOFFにして、手動で曲番をつけてください。（☞28ページ）

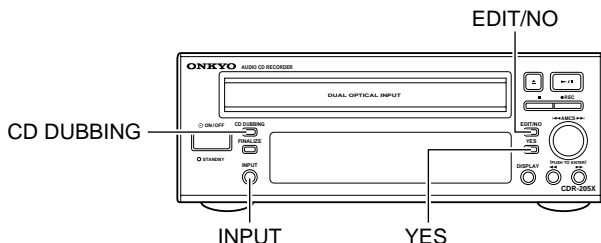
ファイナライズについて

ファイナライズとは、ディスクの特別なエリア(PMA)に記録されたTOC情報(曲番など)をディスクに書き込む操作です。ファイナライズ後、CD-RはCDプレーヤーでも演奏できる状態になります。CD-RWは、CD-RW対応のCDプレーヤーでしか演奏できません。
ファイナライズしたCD-Rディスクは、これ以上録音することもスキップ指定・解除(☞31ページ)することもできません。

記録内容の消去について(CD-RWのみ)

CD-RWディスクは、一度記録した内容を消去して何度も使うことができます。
消去の方法には、次のような種類があります。（☞34ページ）

- **ファイナライズしていないCD-RWの消去**
  最終曲消去:最終曲のみを消去します。
  マルチトラック消去:指定した曲から最終曲までをまとめて消去します。
  全曲消去:ディスクのすべての曲を消去します。
- **ファイナライズ済みCD-RWの消去**
  全曲消去:ディスクのすべての曲を消去します。
  TOC消去:ファイナライズしたCD-RWディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。
- **ディスクの消去**
  ディスク上のすべての情報を消去します。

CDダビングする（システム操作）

音楽CDの全曲を、CD-RまたはCD-RWにデジタル録音します。
ダビングモードは、EDITメニューで選びます。

操作の準備

- 電源を入れる。（☞14ページ）
- CDプレーヤーに音楽CDを入れる。（C-709X/C-707CHXの取扱説明書をごらんください。）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞17ページ）

1 INPUTボタンをくり返し押して、「Digital In1」を選ぶ

Digital In1

ご注意

「Digital In2」または「Analog In」を選んだ場合、CDダビング機能は働きません。

2 EDIT/NOボタンをくり返し押して、「CD DubMode」を選ぶ

CD DubMode?

3 YESボタンを押す

現在のダビングモードが表示されます。

Album→Fade?

左側の表示が現在のモードです。（上記の場合は、Albumモード）

Album:最後まで録音できる曲だけを録音します。（アルバムモード）
Fade:最後まで録音できなかった曲をフェードアウトします。（フェードアウトモード）

4 ダビングモードを切り換えるときは、YESボタンを押す

ダビングモードが設定されます。
元の設定のままにするときは、EDIT/NOボタンを押します。

YES

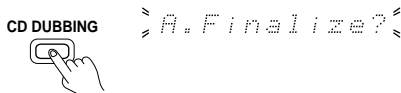
FadeMode

ご注意

- Fadeモードでは、残りの録音時間のみが表示されます。
- AlbumモードでCD-RWに録音時は、録音可能な残り時間は表示されません。

5 CD DUBBINGボタンを押す

自動的にファイナライズする操作の確認メッセージが5秒間表示されます。

A.Finalize?

6 自動的にファイナライズするときは、5秒以内にYESボタンを押す

CDダビングがスタートします。

CDダビング時、レベルシンクはオンになります。

CDプレーヤーがピークサーチを開始し（開始までに20秒かかる場合があります）、本機はピーク値に合った最適な録音レベルを設定します。
（DLA* Link 2機能）
その後、音楽CDの1曲目から全曲をデジタル録音します。

CDの演奏が終わると

本機は自動的に停止します。（停止後ファイナライズするには、FINALIZEボタンを押します。）
自動ファイナライズ設定を「YES」にしたときは、ファイナライズ終了後停止します。

CDダビング中に設定を確認するには

CD DUBBINGボタンを押します。

録音を途中で止めるには

■（停止）ボタンを押します。

CDダビング中に自動ファイナライズを解除するには

FINALIZEボタンを押し ます。

*** DLA**

Digital Rec Level Adjustmentの略です。

1曲だけCDダビングする

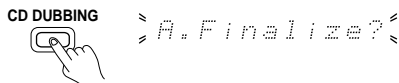
本機をシステム接続した場合は、CDプレーヤーで演奏中（または一時停止中）の曲だけをワンタッチで録音できます。

1 CDプレーヤーでCDを演奏する

2 録音したい曲の演奏中に、CD DUBBINGボタンを押す

自動的にファイナライズする操作の確認メッセージが5秒間表示されます。

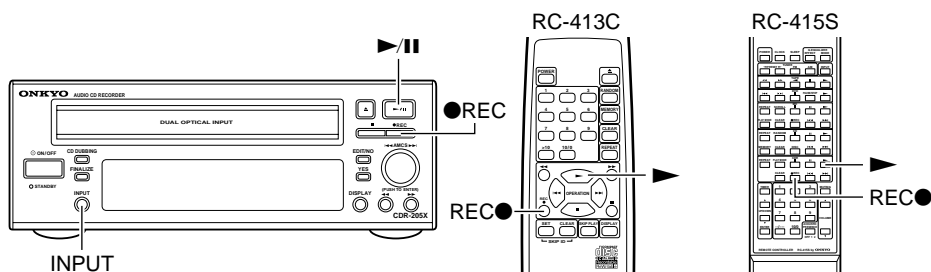
CD DUBBING

A.Finalize?

3 自動的にファイナライズするときは、5秒以内にYESボタンを押す

CDダビングがスタートします。

CDは演奏中の曲の頭に戻り、その曲内でのピークサーチを行い、本機はピーク値に合った最適な録音レベルを設定します。その後録音を開始します。
1曲の録音が終わると、本機は自動的に停止し、CDプレーヤーは次の曲の演奏を続けます。

ダビングモードは、現在設定されているモードになります。ただし、1曲CDダビング時は、Albumモードを選んでいても、最後まで録音できなかった場合も曲を消去せず、途中まで録音します。

シンクロ録音する（システム操作）

本機をシステム接続した場合、次のような操作ができます。

- CDプレーヤーから本機へシンクロ録音する
- MDレコーダーまたはテープデッキから本機へシンクロ録音する
- 本機からMDレコーダーまたはテープデッキへシンクロ録音する

CDプレーヤーから本機へシンクロ録音する

操作の準備

- 電源を入れる。（☞14ページ）
- CDプレーヤーに音楽CDを入れる。（C-709X/C-707CHXの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞17ページ）

1 **INPUTボタンをくり返し押して、「Digital In1」を選ぶ**

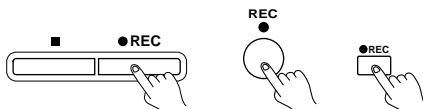
アナログ録音するときは、「Analog In」を選びます。

「Digital In2」を選んだ場合、CDシンクロ機能は働きません。

2 **録音レベルを調整する（☞30ページ）**

3 **●RECボタン（リモコンのREC●ボタン）を押す**

Rec Setup表示後、時間表示になります。（録音待機状態）

CDR-205X　　RC-413C　RC-415S

4 **本機が録音待機状態になってから、CDプレーヤーの►ボタンを押す**

CDの演奏と本機の録音が始まります。

Synchro Rec

CDの演奏が終わると

本機は録音待機状態に戻ります。

CDシンクロ録音を途中で止めるには

CDの演奏を停止します。本機は録音待機状態になります。

アナログ録音時は、アンプの入力切り換えつまみをCDの位置に合わせ、録音中に切り換えないでください。切り換えると、本機は録音待機状態になります。

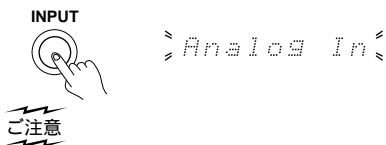
シンクロ録音する（システム操作）

MDレコーダーまたはテープデッキから本機へシンクロ録音する

操作の準備

- 電源を入れる。（☞14ページ）
- MDレコーダーまたはテープデッキにMDまたはカセットを入れる。（MD-105XまたはK-505Xの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞17ページ）

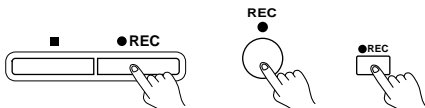
1 INPUTボタンをくり返し押して、入力信号を選ぶ

ご注意

- MDレコーダーまたはテープデッキから録音するときは、「Analog In」を選びます。
- 「Digital In1」または「Digital In2」を選んだ場合、シンクロ録音機能は働きません。

2 録音レベルを調整する（☞30ページ）

3 ●RECボタン（リモコンのREC●ボタン）を押す

「Rec Setup」表示後、時間表示になります。（録音待機状態）

CDR-205X　RC-413C　RC-415S

4 MDレコーダーまたはテープデッキの►ボタンを押す

テープの演奏と本機の録音が始まります。
レベルシンクはOFFになります。

MDまたはテープの演奏が終わると

本機は録音待機状態に戻ります。

シンクロ録音を途中で止めるには

MDレコーダーまたはテープデッキの演奏を停止します。

本機からMDレコーダーまたはテープデッキへシンクロ録音する

操作の準備

- 電源を入れる。（☞14ページ）
- MDレコーダーまたはテープデッキにMDまたはカセットを入れる。（MD-105XまたはK-505Xの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機に演奏可能なCD、CD-RまたはCD-RWを入れる。（☞17ページ）

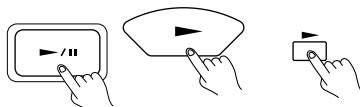
1 MDレコーダーまたはカセットデッキを録音待機状態にする

MDレコーダーまたはテープデッキの設定については、MD-105XまたはK-505の取扱説明書をご覧ください。

K-505X

2 本機の►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押す

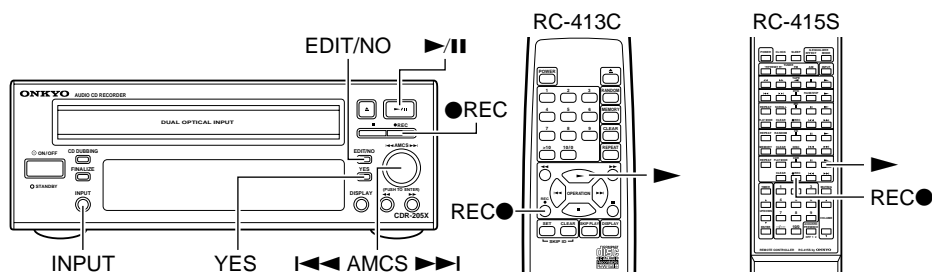
本機の演奏とMDレコーダーまたはテープデッキの録音が始まります。

CDR-205X　RC-413C　RC-415S

本機の演奏が終わると

MDレコーダーまたはテープデッキは録音待機状態に戻ります。

シンクロ録音を途中で止めるには

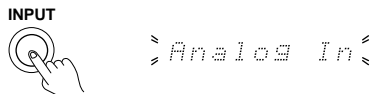
本機の演奏を停止します。

アナログ録音する

本機のアナログ入力端子からの入力信号を録音します。
録音レベルは、手動で調整することができます。

操作の準備

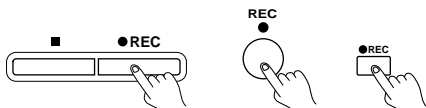
- 電源を入れる。（☞14ページ）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞17ページ）
- アンプの入力切り換えつまみや録音選択ボタンが、録音ソース位置になっていることを確認する。

1 INPUTボタンをくり返し押して、「Analog In」を選ぶ

Analog In

2 録音レベルを調整する（☞30ページ）

3 ●RECボタン（リモコンのREC●ボタン）を押す

レベルシンクはOFFになります。
「Rec Setup」が表示された後、時間表示になります。（録音待機状態）

CDR-205X　RC-413C　RC-415S

4 ►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押してから、録音ソースの演奏を始める

録音が始まります。

ディスクの最後まで録音すると、本機は停止します。

レベルシンクOFFのときに手動で曲番を付けるには

録音中に●RECを押します。

録音を一時停止するには

►/❚❚ボタン（リモコンの❚❚ボタン）を押します。再び録音するには、►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押します。

録音を途中で止めるには

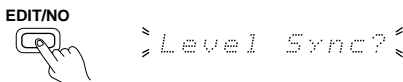
■ボタンを押します。

自動で曲番をつけるには（レベルシンク機能について☞20ページ）

☞20ページ

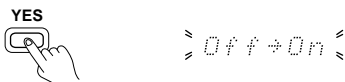
アナログ録音のときには、レベルシンクはOFFになっていますので、曲番は自動的につきません。この場合は、●REC（リモコンのREC●ボタン）を押して、手動で曲番をつけることができます。
録音中に自動的に曲番がつくようにするには、レベルシンク機能をONに設定します。

1 **録音中または録音待機中に、EDIT/NOボタンをくり返し押して、「Level Sync?」を選ぶ**

Level Sync?

2 **YESボタンを押す**

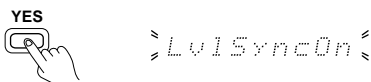
現在の設定が表示されます。
左側の表示が現在の設定です。
（図の場合は、OFF）

YES

Off→On

3 **YESボタンを押す**

レベルシンクがONになります。
EDIT/NOボタンを押すと、元の設定に戻ります。

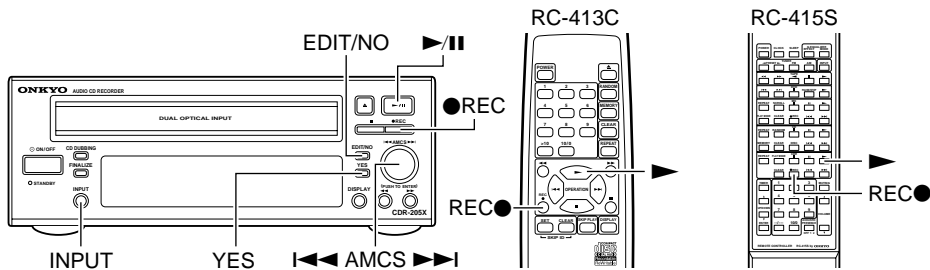
LvlSyncOn

ご注意

レベルシンクをONにしているとき、録音ソースのレベルで曲の切れ目を検出するため、次のような場合は曲番が正しくつかないことがあります。

- カセットテープの記録状態が悪い。（曲と曲の間にノイズがある場合など）
- クラシック音楽などで小さい音が続いている。
- 曲と曲の間が非常に短い。
- チューナーの受信感度が悪い。（ノイズなど）
- レコードプレーヤーから録音するとき。

手動で曲番をつける設定に戻すには

設定をOFFにします。（☞28ページ）

デジタル録音する

本機の光デジタルからの入力信号を録音します。
曲番は録音ソースのまま記録されます。
録音レベルは、手動で調整することができます。

録音できるデジタルソース

本機はサンプリングレートコンバーターを搭載しており、次のサンプリング周波数のデジタル信号を録音できます。

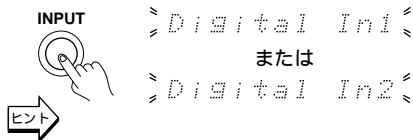
- 44.1kHz（CDなど）
- 32kHz（DAT、衛星放送など）
- 48kHz（DAT、衛星放送など）

HDCDやDTS CDなどをデジタル録音するときは、必ず録音レベルを0dBに調整してください。（☞30ページ）CD DUBBINGボタンによるCDダビングでは、録音レベルを自動設定（DLA）するため、録音できません。

操作の準備

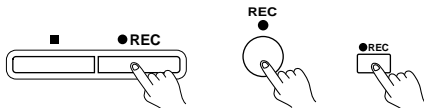
- 電源を入れる。（☞15ページ）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞16ページ）
- アンプの入力切り換えつまみや録音選択ボタンが、録音ソース位置になっていることを確認する。

1 INPUTボタンをくり返し押して、「Digital In1」または「Digital In2」を選ぶ

ヒント

どちらの入力端子に光デジタルケーブルが接続されているかを確認してください。ケーブルが接続されていない方の入力を選ぶと、「D.In Unlock」と表示されます。

2 録音レベルを調整する（☞30ページ）

3 ●RECボタン（リモコンのREC●ボタン）を押す

Rec Setup表示後、時間表示になります。
（録音待機状態）

4 ►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押してから、録音ソースの演奏を始める

録音が始まります。
曲番は自動的に記録されます。
ディスクの最後まで録音すると、本機は停止します。

録音を一時停止するには

►/❚❚ボタン（リモコンの❚❚ボタン）を押します。再び録音するには、►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押します。

録音を途中で止めるには

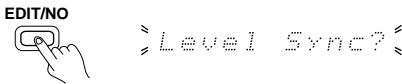
■ボタンを押します。

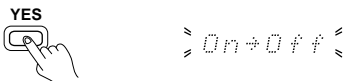
ご注意

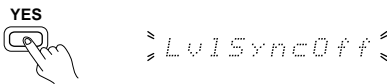
- 衛星放送をデジタル録音する場合、トラック番号が正確に更新されない場合があります。この場合は、レベルシンクをOFFにして手動で曲番をつけてください。
- 曲間が極端に短いときは、曲番が更新されない場合があります。

手動で曲番をつけるには（レベルシンク機能について ☞20ページ）

デジタル録音のときは、レベルシンクはONになっていますので曲番は自動的に更新されます。
録音中に自動的に曲番がつかないようにするには、レベルシンク機能をOFFに設定します。

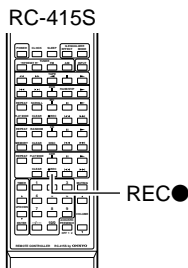
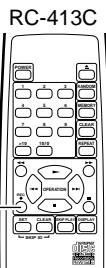
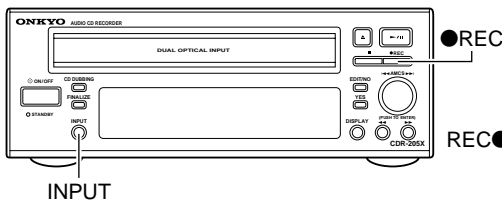
1 録音中または録音待機中に、EDIT/NOボタンをくり返し押して、「Level Sync?」を選ぶ

2 YESボタンを押す

現在の設定が表示されます。
左側の表示が現在の設定です。
（図の場合は、ON）

3 YESボタンを押す

レベルシンクが解除されます。
EDIT/NOボタンを押すと、元の設定に戻ります。

●REC（リモコンのREC●ボタン）を押して、手動で曲番をつけることができます。

自動で曲番をつける設定に戻すには

設定をONにします。（☞26ページ）

デジタル入力信号を検知してシンクロ録音する

ポータブルMDプレーヤーやRI端子のない製品と組み合わせて録音するときは、信号入力に同期して録音を始めることができます。（デジタルシグナルシンクロ録音）

操作の準備

- 電源を入れる。（☞14ページ）
- 本機に録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる。（☞17ページ）
- アンプの入力切り換えつまみや録音選択ボタンが、録音ソース位置になっていることを確認する。

1 INPUTボタンをくり返し押して、入力信号を選ぶ

「Digital In1」または「Digital In2」を選択します。

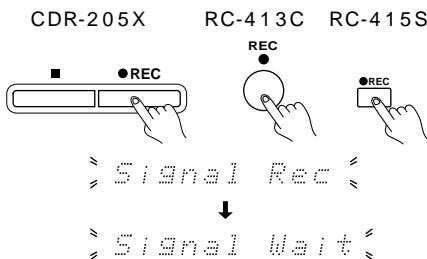
2 録音レベルを調整する（☞30ページ）

3 ●RECボタン（リモコンのREC●ボタン）を押す

Rec Setup表示後、時間表示になります。（録音待機状態）

4 ●RECボタン（リモコンのREC●ボタン）を押す

本機が入力待ち状態になり、「Signal Rec」と表示されたあと、「Signal Wait」表示が点滅します。

ご注意

- 「Check Input」と「Rec Setup」が交互に表示されるときは 録音ソースを止めて「Signal Wait」が点滅するまでお待ちください。
- 演奏側プレーヤーのデジタル出力の中に含まれるサブコード信号を利用して録音を行いますので、一部のCDプレーヤーやMDレコーダーなどでは、デジタルシンクロ録音が正しく動作されない場合があります。

5 本機の「Signal Wait」表示が点滅していることを確認し、録音ソースの演奏を始める

信号を入力すると、録音が始まります。
レベルシンクはONになります。

録音レベルを調整する

デジタル録音時に録音レベルを調整する

衛星放送などデジタル信号レベルの低いソースを録音するときに調整してください。

1 表示部に「Monitor」が表示されていることを確認してください

Monitorが表示されていないときは、INPUTボタンを押して表示させてください。

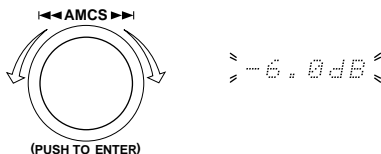
2 EDIT/NOボタンを押す

Rec Level?

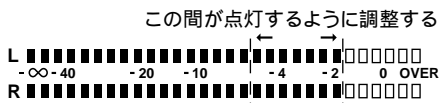
3 YESボタンを押す

調整しないときは、EDIT/NOを押します。

4 AMCSつまみを回して、録音レベルを調整する

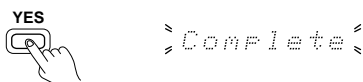
録音レベルが -∞dBから +12dBの範囲で表示されます。

入力レベルが最も大きいときに、表示部の録音レベルが−6から−2dBの範囲で点灯するように調整します。

この間が点灯するように調整する

L
-∞ -40 -20 -10 -4 -2 0 OVER
R

録音レベルを変化させてもDIGITAL OUT端子からのモニター音のレベルは変化しません。

5 録音レベル調整後、YESボタンを押す

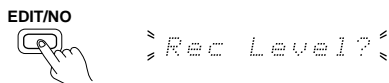
録音レベルが設定されます。

Complete

アナログ録音時に録音レベルを調整する

1 表示部に「Monitor」が表示されていることを確認してください

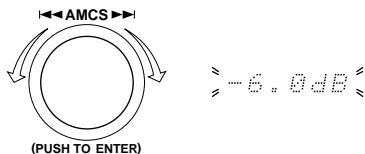
Monitorが表示されていないときは、INPUTボタンを押して表示させてください。

2 EDIT/NOボタンを押す

Rec Level?

3 YESボタンを押す

調整しないときは、EDIT/NOを押します。

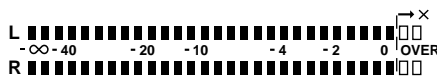
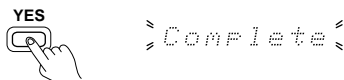
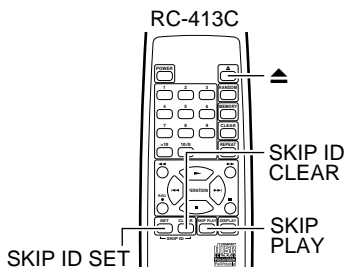
4 AMCSつまみを回して、録音レベルを調整する

録音レベルが -∞dBから +18dBの範囲で表示されます。

入力レベルが最も大きいときに、表示部の録音レベル表示の「OVER」が点灯しないように調整してください。「OVER」が点灯すると音が歪みます。

L
-∞ -40 -20 -10 -4 -2 0 OVER
R

5 録音レベル調整後、YESボタンを押す

録音レベルが設定されます。

Complete

スキップ情報を指定する/解除する

録音を失敗した曲や無音状態の曲にあらかじめスキップ情報を指定しておくと、演奏時にその曲を飛び越します。（リモコンのみの操作です。）
スキップ情報は、最大21曲まで指定できます。

ご注意

- スキップ情報の指定と解除をくり返すと、指定できる曲数が少なくなる場合があります。
- 市販のCDやファイナライズ済みのCD-R、CD-RWでは、スキップ情報の指定はできません。
- スキップ演奏は、スキップ機能のないCDプレーヤーでは働きません。

スキップ情報を指定する

1 スキップしたい曲を演奏する

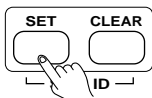
すでにスキップ情報が指定されている曲を演奏すると、SKIPインジケーターが点灯します。

SKIP

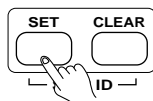
2 SKIP ID SETボタンを押す

指定した曲がくり返し演奏され、曲番と「Skip Set?」メッセージが交互に表示されます。

1 ⟷ Skip Set?

ヒント

I◄◄または►►Iを押す(または、本体のAMCSつまみを回す)と、スキップ情報の指定されていない前後の曲を演奏できます。

3 SKIP ID SETボタンを再度押す

スキップ情報が指定されます。

4 他の曲をスキップ指定するには、手順1～3をくり返す

「Skip Full」と表示されたときは、それ以上指定できません。

5 ⏏ボタンを押す

スキップ情報をディスクに記録してから（数秒間）、ディスクトレイが開きます。

スキップ情報の指定を中止するには

■ボタンまたはSKIP ID CLEARボタンを押します。

スキップ情報を指定する/解除する

スキップ情報を解除する

1 **スキップ情報の記録されたCD-RまたはCD-RWを挿入する**

2 **SKIP PLAYボタンを押す**

SKIP ONインジケーターが消えます。

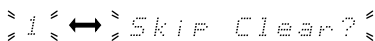
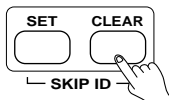
3 **スキップ情報を解除したい曲を演奏する**

すでにスキップ情報が指定されている曲を演奏すると、SKIPインジケーターが点灯します。

SKIP

4 **SKIP ID CLEARボタンを押す**

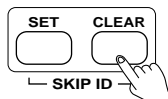
指定した曲がくり返し演奏され、曲番と「Skip Clear?」メッセージが交互に表示されます。

1 ⟷ Skip Clear?

I◀◀または▶▶Iを押す(または、本体のAMCSつまみを回す)と、スキップ情報の指定された前後の曲を演奏できます。

ご注意

スキップ情報の指定されていない曲を演奏中にSKIP ID CLEARボタンを押すと、スキップ情報の指定された次の曲を探して演奏します。

5 **SKIP ID CLEARボタンを再度押す**

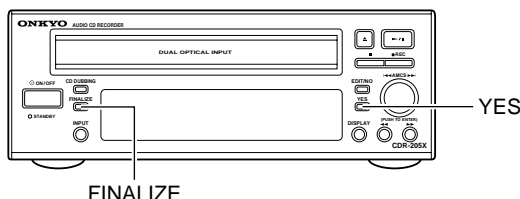
スキップ情報が解除されます。

6 **他の曲をスキップ解除するには、手順3〜5をくり返す**

7 **⏏ボタンを押す**

スキップ情報をディスクに記録してから（数秒間）、ディスクトレイが開きます。

スキップ情報の解除を中止するには

■ボタンまたはSKIP ID SETボタンを押します。

ファイナライズする

ファイナライズとは、ディスクの特別なエリア（PMA）に記憶されたTOC情報（曲番など）をディスクに書き込む操作です。

ファイナライズ後

CD-Rは、CDプレーヤーでも演奏できる状態になります。
CD-RWは、CD-RW対応のCDプレーヤーでしか演奏できません。
ファイナライズしたCD-Rディスクは、これ以上録音することもスキップ指定・解除(31ページ)することもできません。

1 録音が終了したCD-RまたはCD-RWを挿入する

2 FINALIZEボタンを押す

ヒント

10分以上ファイナライズスタンバイ状態が続くと、自動的にスタンバイ状態を解除します。

3 時間情報が表示されたあと、YESボタンを押す

ファイナライズを開始します。
ファイナライズ完了まで、残り時間が表示されます。（約4分間かかります。）

ファイナライズが完了すると

本機は自動的に停止します。

ファイナライズを中止するには

手順3でYESボタンを押す前に、■ボタンを押します。

ファイナライズ後のディスク表示

CD-R表示は、CD表示になります。
CD-RW表示は、CD-RW表示のまま FINALIZE表示が追加されます。

ご注意

- **ファイナライズ中は絶対に電源を切らないでください。また、電源コードを抜かないでください。ディスクを破損するおそれがあります。**
  誤って電源を切ってしまったり、停電になった場合は、次に電源を入れたとき残りの処理を続けますが、ディスクは正しく修復されない場合があります。
- 傷や汚れ、ホコリのあるディスクをファイナライズしないでください。処理が完了しない場合があります。
  約10分以上経過しても処理が完了しないときは、■ボタンを押して処理を中止してください。この場合のディスクは、一般のCDプレーヤーで演奏できません。
- ファイナライズ中は、操作ボタンは働きません。

記録内容を消去する（CD-RWのみ）

CD-RWディスクは、一度記録した内容を消去して何度も使うことができます。
消去の方法には、次のような種類があります。

■ ファイナライズしていないCD-RWの消去

最終曲消去:最終曲のみを記録します。
マルチトラック消去:指定した曲から最終曲までをまとめて消去します。
全曲消去:ディスクのすべての曲を消去します。

■ ファイナライズ済みCD-RWの消去

全曲消去:ディスクのすべての曲を消去します。
TOC消去:ファイナライズしたCD-RWディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。

■ ディスクの消去

ディスク上のすべての情報を消去します。

ご注意

- 消去中に電源が切れたり、不注意によって電源を切ってしまったときは、再度電源を入れてください。消去が自動的に再開されます。
- 「Disc Error」と表示され、消去が中断したときは、ディスクを取り出してキズや汚れ、ホコリがないことを確認して、再度消去してください。
- 消去操作のあと、電源を切る前には必ずディスクを取り出してください。本体にディスクを残したまま電源を切ると、完全に消去されない場合があります。

ファイナライズしていないCD-RWの消去

1 **消去したいCD-RWディスクを入れる**

2 **EDIT/NOボタンをくり返し押して、「Erase ?」を選ぶ**

3 **YESボタンを押す**

消去内容を選ぶ表示になります。

4 AMCSつまみを回して、消去内容を選ぶ

Last Track?: 最終曲のみを消去します。

All Track?: すべての曲を消去します。

（曲番）－（最終曲番）?: AMCSつまみを回して、消去を始める曲を選びます。選択した曲から最終曲までが消去されます。

5 YESボタン(またはAMCSつまみ)を押す

消去が始まります。
消去が完了すると時間表示になります。

ファイナライズ済みのCD-RWの消去

1 消去したいCD-RWディスクを入れる

2 EDIT/NOボタンをくり返し押して、「Erase ?」を選ぶ

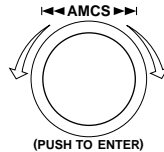
Erase?

3 YESボタンを押す

消去内容を選ぶ表示になります。

YES

Toc Erase?

4 AMCSつまみを回して、消去内容を選ぶ

Toc Erase ?:ファイナライズしたCD-RWディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。

All Track ?:すべての曲を消去します。

5 YESボタンを押す

消去が始まります。
消去完了まで残り時間が表示されています。

消去を強制終了するには

■ボタンを約10秒間押し続けます。
作業を中止したディスクは、正常に消去されていませんので、必ずディスク消去（☞36ページ）を行ってください。

記録内容を消去する（CD-RWのみ）

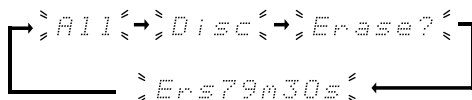
ディスクの消去

1 **消去したいCD-RWディスクを入れる**

2 **EDIT/NOボタンをくり返し押して、「Erase ?」を選ぶ**

3 **YESボタンを4秒以上押す**

消去を確認する表示になります。

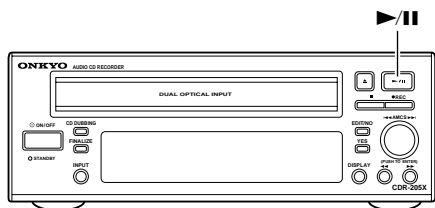
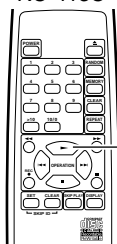
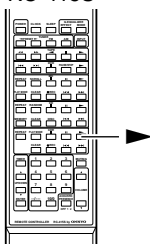
All → Disc → Erase? → Ers79m30s

4分間以上この状態がつづくと解除されます。

4 **YESボタンを押す**

消去が始まります。
消去完了まで残り時間が表示されます。
ディスクの最大録音時間に約5分追加した時間がかかります。

消去を強制終了するには

■ボタンを約10秒間押し続けます。
作業を中止したディスクは、正常に消去されていませんので、必ず再度ディスク消去を行ってください。

演奏する

本機でディスクを演奏するには、次のような方法があります。

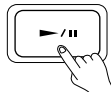
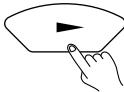
- 1曲目から演奏する（通常演奏）
- 順序不同で聞く（ランダム演奏）
- くり返し演奏する（リピート演奏）
- 予約演奏する（メモリー演奏）

操作の準備

- 電源を入れる。（☞14ページ）
- 本機に音楽CDまたは録音済みのCD-R・CD-RWを入れる。（☞17ページ）

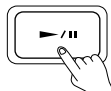
1曲目から演奏する

►/❚❚ボタンを押す

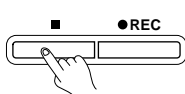
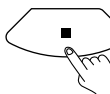
1曲目から演奏が始まります。

CDR-205X　RC-413C　RC-415S

演奏を一時停止するには

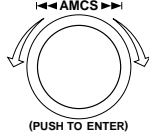
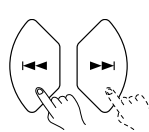
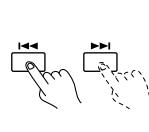
►/❚❚ボタン（リモコンの❚❚ボタン）を押します。再び演奏するには、►/❚❚ボタン（リモコンの►ボタン）を押します。
10分間一時停止状態がつづくと解除されて停止状態になります。

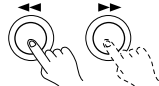
CDR-205X　RC-413C　RC-415S

RC-413C　RC-415S

演奏を途中で止めるには

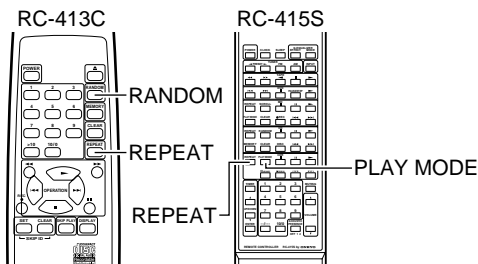
■ボタンを押します。

CDR-205X　RC-413C　RC-415S

聞きたい曲を選ぶには（スキップ）

AMCSつまみを左右に回します。
リモコンでは、❙◄◄または►►❙ボタンを押します。
❙◄◄:演奏中に押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。続けて2回押すと、前の曲の頭出しをします。
►►❙:押すたびに次の曲の頭出しをします。

CDR-205X　RC-413C　RC-415S

早送り、早戻しするには（サーチ）

◄◄または►►ボタンを押します。
◄◄:早戻しします。
►►:早送りします。

CDR-205X　RC-413C

聞きたい曲を選ぶには

リモコンの数字ボタンを押すと、聞きたい曲から演奏が始まります。（☞39ページ）

演奏する

順序不同に演奏する（ランダム演奏）

停止中に、RANDOMボタンを押す

システムリモコンRC-415Sでは、PLAY MODEボタンをくり返し押します。

ディスク内のすべての曲を順序不同で演奏します。RANDOMインジケーターが点灯します。

RC-413C　　**RC-415S**

RANDOM

ランダム演奏モードを解除するには

停止中に、RANDOMボタンを押します。

ランダム演奏中、数字ボタン、AMCSつまみ、I◀◀/▶▶Iキーは働きません。

くり返し演奏する（リピート演奏）

REPEATボタンをくり返し押す

「REPEAT 1」表示を選ぶと、演奏中の曲だけをくり返し演奏します。

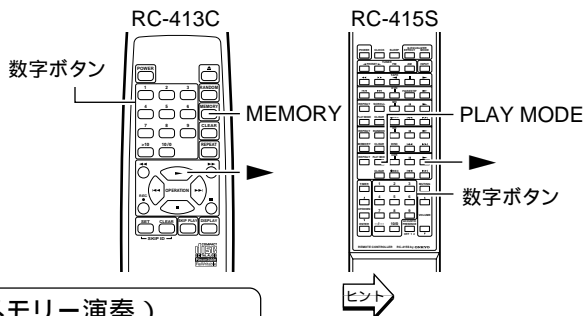
「REPEAT」表示を選ぶと、すべての曲をくり返し演奏します。

RC-413C　　**RC-415S**

REPEAT

リピート演奏モードを解除するには

REPEATインジケーターが消えるまで、くり返しREPEATボタンを押します。または■ボタンを押します。

- ランダム演奏中にREPEATボタンを押すと、演奏中の曲または全曲を、順序不同にくり返し演奏します。
- メモリー演奏中にREPEATボタンを押すと、演奏中の曲または予約した曲をくり返し演奏します。

予約演奏する（メモリー演奏）

聞きたい曲だけを選び、聞きたい順に演奏できます。30曲まで予約できます。

1 停止状態で、MEMORYボタンを押す

システムリモコンRC-415Sでは、PLAY MODEボタンをくり返し押します。
MEMORYインジケーターが点灯します。
Track=?と表示されます。

RC-413C **RC-415S**

MEMORY PLAY MODE

2 聞きたい曲の数字ボタンを、聞きたい順に押す

11曲目以上を選ぶには（99曲目まで）

RC-413C: [>10]ボタンを押して10の位の数字ボタンを押してから、続く位の数字ボタンを押します。
例）35曲目:[>10]+[3]+[5]

RC-415S: [--/---]ボタンを押してから10の位、1の位の数字ボタンを押します。
例）35曲目:[--/---]+[3]+[5]

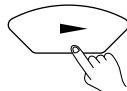
予約内容を確認するには

►►を押します。

ヒント

本体のAMCSつまみを回して、聞きたい曲を選び、つまみを押して決定することもできます。

3 ►ボタンを押す

予約順に演奏が始まります。

メモリー演奏を止めるには

■ボタンを押します。

メモリー演奏モードを解除するには

停止状態で、MEMORYボタンを押します。

予約内容を取り消すには

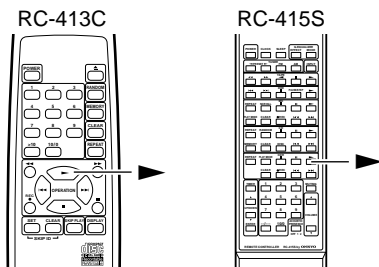
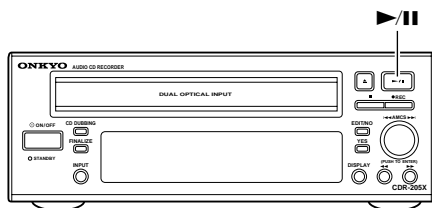
停止状態でCLEARボタンまたは■ボタンを押します。押すたびに、最後の予約曲から取り消されます。

予約内容を変更するには

►►ボタンを押して変更したい予約曲番を表示します。AMCSつまみを回して希望の曲番を選びます。変更後は、DISPLAYボタンを押すと元の表示に戻ります。

メモリー演奏中の早送りについて

メモリー演奏中は、演奏中の曲番のみ早送りできます。演奏中の曲を最後まで早送りすると次の曲番に移る前に一時停止状態になります。
一時停止状態を解除するには►ボタン、❚❚ボタンまたは◄◄ボタンを押してください。

聞きたくない曲を飛ばす（スキップ演奏）

聞きたくない曲をスキップ情報の設定(31ページ)によって、飛び越すことができます。

1 スキップ情報を設定したディスクを入れる

スキップ情報が設定されているディスクを入れると、SKIP ONインジケーターが点灯します。

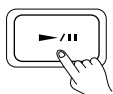
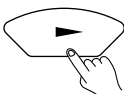
SKIP
ON

2 ►/IIボタン（リモコン►ボタン）を押す

スキップ情報が指定された曲を飛ばして演奏します。

スキップ情報が指定された曲を演奏するには

停止状態でSKIP PLAYボタンを押して、SKIP ONインジケーターを消してから、演奏します。

スキップ機能のないCDプレーヤーでは、スキップ演奏はできません。

タイマー演奏する（システム操作）

A-909X/R-805X、T-405Xとシステム接続すると、タイマー演奏ができます。
タイマーセットの方法は、R-805X/T-405Xの取扱説明書をご覧ください。
T-405Xをお使いになる場合は、演奏するソースをLINE-2にしてください。
設定方法は、T-405Xの取扱説明書の「タイマー演奏をする」（29 ページ）の手順4をご覧ください。

1 再生用ディスクを入れる

2 R-805X/T-405Xのタイマーを設定する

本機は必ず常時通電しているコンセントに接続してください。A-909X背面の電源コンセントに接続するときは、A-909Xの主電源スイッチ（POWER）を切らないでください。

メッセージ一覧

メッセージ	解説	参照
Open	トレイを開けます。	17
Welcome	トレイを閉めます。	17
Rec Setup	録音のため初期設定中です。しばらくお待ちください。	23
Disc Reading	ディスクを判別しています。しばらくお待ちください。	17
Toc Reading	ディスクの内容を読み込んでいます。しばらくお待ちください。	17
Monitor	INPUT ボタンで選択した入力ソースをモニターしています。	30
PMA Writing	TOC データをディスクの PMA(プログラム・メモリー・エリア)に記録中です。 この表示がでているときには決して電源を切らないでください。	19
Track= ?	数字ボタンまたは AMCS つまみか I◀◀ または ▶▶I ボタンでメモリーする曲を選んでください。	39
Skip Set ?	スキップ演奏する曲を選択しています。 スキップ情報を設定する場合は SKIP ID SET ボタンを選んでください。	31
Skip Clear ?	スキップ演奏を解除する曲を選択しています。 スキップ情報を解除する場合は SKIP ID CLEAR ボタンを選んでください。	32
Last Track ?	最終曲をを消去します。消去する場合は YES ボタン(または AMCS つまみ)を押してください。	34
All Track ?	全曲を消去します。消去する場合は YES ボタンを(または AMCS つまみ)押してください。	35
Toc Erase ?	ファイナライズしたディスクの TOC を消去して、ファイナライズの前の状態に戻します。消去する場合は YES ボタン(または AMCS つまみ)を押してください。	35
＊－＊ ?	選択した範囲の曲を消去します。消去する場合は YES ボタンを(または AMCS つまみ)押してください。	35
All → Disc → Erase ? → Ers ? ＊＊ : ＊＊	ディスク上のすべての情報を消去します。 消去する場合は YES ボタンまたは AMCS つまみを押してください。	36

その他使用中の不具合を検出しますと文字表示を行ないます。
上記以外の文字表示については次ページを参照してください。

故障?と思ったら

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないとき、これ以外の症状のときは、電源コードをコンセントから抜いて「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（CDR-205X）」「故障状況」をできるだけ詳しくお買い上げいただいたお店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

自己診断機能について

本機は自己診断機能を持っていますので、動作中に不具合を検出すると表示部に下記のようをメッセージが表示します。

表示	原因	対応
"Disc Error"	• ゴミ、汚れ、キズまたは振動によって停止したと思われます。 • ディスクが表裏逆に入れられていると思われます。	• ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。(☞17 ページ) • ディスクを取り出して確認してください。(☞17 ページ) 正しくディスクを挿入しなおしても、繰り返し表示する場合は電源コードを再度入れなおしてください。それでも繰り返し表示する場合は、当社サービスステーションにご連絡ください。
"Sys. Error" 点滅表示	ノイズや静電気などでシステムに異常が発生したと思われます。	電源コードを再度入れなおしてください。それでも繰り返し表示する場合は、当社サービスステーションにご連絡ください。

録音動作時関連のインフォメーション

表示	原因	対応
"Cannot Copy"	コピー・ガード信号(SCMS)を含むデジタル信号が入力されている。	アナログ入力で録音するか複製可能な音楽信号を録音する。(☞46 ページ)
"Cannot Rec"	• デジタル入力がさえぎられている。 • CD-ROM などのデータが入力されている。	• 演奏側のプレーヤーが動作しているか、デジタルケーブルがきちんと接続されているか確認する。(☞12 ページ) • ソースが通常の音楽信号かどうか確認する。(☞19 ページ)
"Check Input" ↓ ↑ "Rec Setup" 交互表示	すでに演奏側のプレーヤーが演奏している。	演奏側のプレーヤーを停止します。間もなく、"Signal Wait"表示になります。(☞29ページ)
"Rec Setup"	録音待機中です。	表示が消えるまでお待ちください。

録音動作時関連のインフォメーション（続き）

表示	原因	対応
Repair	録音後ディスクを入れっ放しにして電源を切って、そのまま放置したため、曲番および録音時間情報が消えてしまう。	"Repair"表示中、演奏を録音したエリアをトレースすることで、曲番および録音時間情報を修復します。表示が元の状態に戻ったら、録音やファイナライズが可能です。録音したエリアをトレースするには、最大に録音をしていた場合で約 40 分かかります。
Disc Full	ディスクの録音時間一杯に録音されているか、すでに 99 曲録音されているため、これ以上録音ができない。	新しいディスクに入れ替えてください。
Pro Disc	「FOR CONSUMER」表示のない音楽用以外の CD-R ディスクか CD-RW ディスクが挿入されている。	取り出してディスクを確認してください。「FOR CONSUMER」または「FOR MUSIC USE ONLY」表示のある CD-R ディスクか CD-RW ディスクを挿入してください。(☞15 ページ)

演奏関連　その他のインフォメーション

表示	原因	対応
Blank Disc	未録音ディスクが挿入されている。 未録音ディスクを演奏させようとした。	挿入したディスクは未録音 CD-R ディスクか CD-RW ディスクです。録音は可能ですが、演奏はできません。
No Disc	ディスクを入れないで演奏させようとした。	トレイを開けて、ディスクが挿入されているか確認してください。(☞17 ページ)
Now Setting	本機が動作するまでの準備中です。	しばらくお待ちください。
Recovering	停電修復処理中です。録音中に停電、または誤って電源を切ってしまった後に、ディスクの追加録音を可能にするための修復作業モードです。	メッセージが消えるまで、しばらくお待ちください。(☞19 ページ)
Over	再生中または一時停止中に早送りボタンを押してディスクの最後まで達した。	

症状	原因	対応の仕方
電源が入らない	電源コードがコンセントから抜けている。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源コードをつないだ機器（ステレオアンプ、オーディオタイマーなど）の電源が落とされている。	電源コードにつないだ機器の電源を入れてください。
スピーカーから音が出ない。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続してください。（☞12 ページ）
録音できない。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続してください。（☞12 ページ）
	ファイナライズ済みの CD-R ディスクか CD-RW ディスクを使用している。	ファイナライズしていないディスクを使用してください。（☞33 ページ）
	入力切り替えが正しく選択されていない。	接続している入力に切り替えてください。（☞21、23、25、27、29 ページ）
	録音レベル調整つまみが絞られている。	録音レベルを適度な大きさに上げてください。（☞30 ページ）
録音すると音が歪む。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続してください。（☞12 ページ）
	テレビからの影響を受けている。	テレビの電源を切るか、またはテレビから本体を離してしください。
	ディスクが破損しているか割れている。	他のディスクを使ってください。
	録音レベルが高すぎる。	録音レベルを下げてください。（☞30 ページ）
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
リモコン操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池をすべて新しいものと交換してください。（☞9 〜 10 ページ）
	リモコンと本機の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。（☞9 〜 10 ページ）
	リモコン操作範囲の外で操作している。	リモコンの操作範囲で操作してください。（☞9 〜 10 ページ）
ある曲を演奏せずに飛び越す。	SKIP PLAY が ON になっている。	SKIP PLAY ボタンで OFF にしてください。（☞ 40 ページ）
スキップ演奏しない。	SKIP PLAY が OFF になっている。	SKIP PLAY ボタンで ON にしてください。（☞ 40 ページ）
録音した CD-R ディスクが他のプレーヤーで演奏できない。	• 録音後、ファイナライズ処理をしていない。 • 本機でこのディスクをかけると CD-R インジケーターが点灯する。	ファイナライズ処理を行ってください。（☞33 ページ）

ご注意

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（ＣＤレンタル料等）については保証致しかねます。大事な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音いただきますようお願いいたします。

デジタル録音時のルールについて

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したCD-RまたはCD-RWをさらにデジタル入力録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク(CD)またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、CD-RまたはCD-RWへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のCD-RまたはCD-RWへ、「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したCD-RまたはCD-RWから、他のCD-RまたはCD-RWへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したCD-RまたはCD-RWから、他のCD-RまたはCD-RWへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。

CDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3

DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するCDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目ができないことがあります。

各部の名称と働き

1
2
3
4
5
ONKYO
AUDIO CD RECORDER
DUAL OPTICAL INPUT
■
●REC
6
ON/OFF
STANDBY
CD DUBBING
FINALIZE
INPUT
EDIT/NO
YES
DISPLAY
AMCS
7
8
CDR-205X
16
15
14
13
12
11
10
9

A
B
M
L
K
J
I
DISC TRACK
ANALOG IN
DIGITAL IN 1 2
C D - R W
SKIP
ON
FINALIZE
LEVEL-SYNC
L
R
- ∞ - 40
- 20
- 10
- 4
- 2
0 OVER
MEMORY
RANDOM
REPEAT 1
C
D
H
G
F
E

17
18
19
20
ANALOG
INPUT (REC)
OUTPUT (PLAY)
RI
REMOTE CONTROL
DIGITAL
OPTICAL
INPUT 1
INPUT 2
OUTPUT
ONKYO
AUDIO CD RECORDER
CDR-205X
21

各部の名称と働き

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

前面パネル

1 ON/OFF（スタンバイ／電源オン）スイッチとSTANDBYインジケーター[14]
押し込んだ状態が電源オン、上がった状態がオフです。押し込んだ状態でリモコンまたは他のシステム機器で電源を切ると、STANDBYインジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

2 ディスクトレイ[17]

3 ■（停止）ボタン[37]
録音または演奏を停止します。停止状態で押すとメモリー演奏の予約内容を取り消します。

4 ⏏（ディスクトレイ開／閉）ボタン[17]
ディスクトレイを開閉します。

5 ►/II（演奏／一時停止）ボタン[37]
アナログ録音／デジタル録音、演奏を始めます。演奏中に押すと一時停止状態になります。もう一度押すと、演奏状態に戻ります。

6 ●REC（録音）ボタン[23]
アナログ録音／デジタル録音時、録音待機状態にします。

7 I◄◄AMCS►►Iつまみ[37]
演奏中の曲番を前後に飛び越します。停止状態で押すと演奏を始める曲を選べます。

8 ◄◄／►►（早戻し／早送り）ボタン[37]
演奏中のディスクを前後に早送りします。

9 DISPLAY（表示切り換え）ボタン[18]
押すたびに表示部の表示が切り換わります。

10 YES（選択）ボタン[21]
CDダビングモードなどの設定時、表示内容通りに決定するとき押します。

11 EDIT/NO（編集／取り消し）ボタン[21]
繰り返し押して、CDダビング、消去などの操作内容を選びます。設定中は、表示された内容を取り消すときに押します。

12 リモコン受光部[9]

13 表示部
A DISC/TRACK（ディスク／トラック）識別インジケーター
B 表示部
C MEMORY（メモリー演奏）インジケーター
D RANDOM（ランダム演奏）インジケーター
E REPEAT 1（リピート／1曲リピート）インジケーター
F 録音レベル表示
G SKIP ON（スキップ演奏）インジケーター
H LEVEL-SYNC（レベルシンク）インジケーター
I FINALIZE（ファイナライズ）インジケーター
J CD-RW（CD／CD-R／CD-RW）識別インジケーター
K ►（演奏）／II（一時停止）／●（録音）インジケーター
L DIGITAL IN 1/2（デジタル入力1／2）インジケーター
M ANALOG IN（アナログ入力）インジケーター

14 CD DUBBING（CDダビング）ボタン[21]
CDダビングを始めます。

15 FINALIZE（ファイナライズ）ボタン[33]
録音済みのディスクをファイナライズします。

16 INPUT（入力選択）ボタン[21]
入力信号を切り換えます。

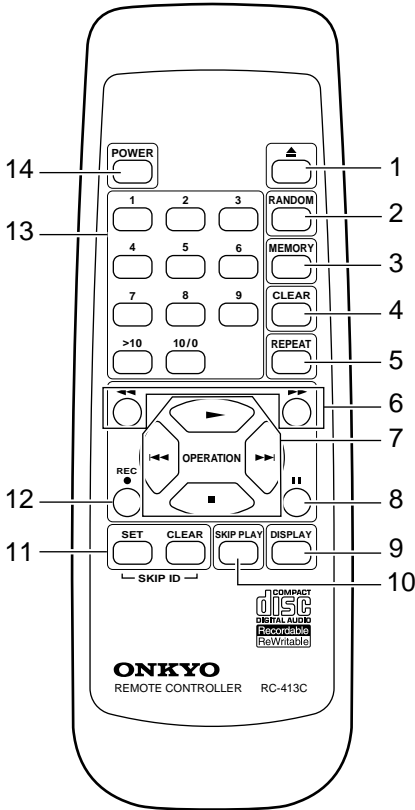
後面パネル

17 ANALOG INPUT(REC)/OUTPUT (PLAY)（アナログ入力／出力）端子[12]

18 RI REMOTE CONTROL（リモートコントロール）端子[12]

19 DIGITAL INPUT 1/2（光デジタル入力1／2）端子[12]

20 DIGITAL OUTPUT（光デジタル出力）端子[12]

21 電源コード[12]

［ ］内の数字は、参照ページを示しています。

リモコンRC-413C

1 ⏏（ディスクトレイ開／閉）ボタン[17]
ディスクトレイを開閉します。

2 RANDOM（ランダム演奏）ボタン[38]
ディスクを順序不同に演奏します。

3 MEMORY（予約）ボタン[39]
メモリー演奏の予約曲をするときに押します。
メモリー演奏を始めるには、►ボタンを押します。

4 CLEAR（予約取り消し）ボタン[39]
押すたびに、予約曲を最後の曲から取り消します。

5 REPEAT（リピート演奏）ボタン[38]
ディスク全体または1曲を繰り返し演奏します。

6 ◄◄／►►（早戻し／早送り）ボタン[37]
演奏中のディスクを前後に早送りします。ディスクにつけた名前を修正するときは、カーソルを前後に移動します。

7 OPERATION（オペレーション）ボタン
■（停止）ボタン[37]
録音または演奏を停止します。停止状態で押すとメモリー演奏の予約内容を取り消します。
►（演奏）ボタン[37]
アナログ録音／デジタル録音、演奏を始めます。
I◄◄／►►I（スキップ）ボタン[37]
演奏中の曲番を前後に飛び越します。停止状態で押すと演奏を始める曲を選べます。

8 II（一時停止）ボタン[37]
演奏中に押すと一時停止状態になります。►ボタンを押すと、演奏状態に戻ります。

9 DISPLAY（表示切り換え）ボタン[18]
押すたびに表示窓の表示が切り換わります。

10 SKIP PLAY（スキップ演奏）ボタン[32、40]
スキップ情報の記録されたディスクで、スキップ演奏するかどうかを選びます。演奏を始めるには、►ボタンを押します。

11 SKIP ID SET/CLEAR（スキップ情報指定／解除）ボタン[31、32]
スキップ情報を指定するとき、解除するとき押します。

12 ●REC（録音）ボタン[23]
アナログ録音／デジタル録音時、録音待機状態にします。

13 数字ボタン[39]
押したボタンの曲から演奏が始まります。予約曲を指定するときにも押します。

14 POWER（電源）ボタン[14]
本体のON/OFFスイッチを押し込んだとき、電源オン／スタンバイを切り換えます。

リモコンRC-415Sの各部の名称と働きは、A-909Xの取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

形式	コンパクトディスクレコーダー
録音再生時間	最長　約 80 分（80 分ディスク使用時）
D/A コンバーター	シングルビット方式
デジタル・フィルター	8 倍オーバーサンプリング
接続	アナログ入力 1
	アナログ出力 1
	デジタル入力 2（光学式）
	デジタル出力 1（光学式）
周波数特性	5 Hz － 20 kHz
再生時	
ひずみ率	0.004% (1kHz)
ダイナミックレンジ	98 dB
S/N 比	98 dB
録音時	
ひずみ率	0.006% (1kHz)
ダイナミックレンジ	92 dB
S/N 比	94 dB
チャンネル・セパレーション	90 dB (再生時)
ワウ・フラッター	測定限界以下
出力レベル	2.0 V r.m.s. (アナログ)
電源	AC100V、50/60 Hz
最大外形(巾×高さ×奥行き)	205 mm(W) × 76 mm(H) × 303 mm(D)
質量	2.9 kg

性能および外観は、性能向上のため予告なしに変更することがります。

オンキョーサービス網一覧

万一お困りの場合は、下記の窓口へご相談ください。

● 製品の故障や修理についてのお問い合わせは、下記のサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。
修理をご依頼になる前に、この取扱説明書の「故障?と思ったら」の項をご確認のうえご依頼ください。

札幌サービスステーション	☎011-747-6612	〒001-0028	札幌市北区北28条西5-1-28　トーシン北28条ビル
仙台サービスステーション	☎022-297-0571	〒984-0051	仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル 1F
大宮サービスステーション	☎048-651-8612	〒330-0034	大宮市土呂町2-29-2　高安ビル 1F
宇都宮サービスステーション	☎028-634-4307	〒320-0831	宇都宮市新町2-7-7
東京サービスセンター	☎03-3861-8121	〒111-0054	東京都台東区鳥越1-2-3　ハマスエビル
八王子サービスステーション	☎0426-32-8030	〒192-0914	八王子市片倉町358
横浜サービスステーション	☎045-322-9342	〒220-0072	横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F
名古屋サービスステーション	☎052-772-1229	〒465-0013	名古屋市名東区社口1-1001
大阪サービスセンター	☎06-6576-7620	〒552-0013	大阪市港区福崎2-1-49
兵庫サービスステーション	☎0794-83-7408	〒673-0415	三木市府内町2-5
広島サービスステーション	☎082-262-3315	〒732-0057	広島市東区二葉の里2-8-28
高松サービスステーション	☎087-868-5662	〒760-0079	高松市松縄町44-8　西原ビル1F
福岡サービスステーション	☎092-418-1357	〒812-0006	福岡市博多区上牟田3-8-19　みなみビル202

● カタログのご請求や製品については、販売促進部（TEL 072-831-8111）へご相談ください。
2000年3月現在　修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

ご購入された時にご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日　：　　　年　　　月　　　日

ご購入店名　：

Tel.　　　(　　　)

メモ:

アフターサービス

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ただちに電源プラグを抜いてから、修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは
「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(CDR-205X)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。

本社／大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.onkyo.co.jp/

アフターサービスのお問い合わせ先:
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
● 東京サービスセンター ☎03（3861）8121　● 大阪サービスセンター ☎06（6576）7620

SN29342868

Printed in Japan
D0002-1